



E332301

子ども家庭支援論

プレビュー

第15回目課題(オンライン入力レポート)	
課題に関する説明	<p>以下の設問にオンライン(直接)入力で教えてください(字数の制限はありません)。</p> <p>【課題のねらい】 今回の課題は2019年度に実施した「一日パパママ体験事業」から出題します。 本事業は兵庫県と神戸新聞社がタッグを組んだ子育て支援事業で、実際にみなさんの先輩が参加しました。 今年度も実施する予定で、本当はぜひみなさんにも体験してもらいたい事業だったのですが、残念ながら昨今の状況で叶わずに終わってしまいました。 そこで、今回はみなさんに「こんな取り組みがあるんだ!」と本事業を知っていただき、機会があれば来年度ぜひご参加いただけますと幸いです。</p> <p>【課題の流れ】 以下の流れに沿って課題に取り組んでください。</p> <p>①第8回目講義資料「地域における家庭支援」を再読してください。併せて、指定テキスト第6章を読んで、地域子育て支援の実情を把握してください。</p> <p>②以下のURLにアクセスし、「事業紹介」動画を視聴してください。 https://youtu.be/cGbm8_nMiC4</p> <p>③添付ファイルの新聞記事を読み、以下のURLにアクセスし「座談会」動画を視聴してください。 https://www.kobe-np.co.jp/rentoku/movie/new/202003/0013174767.shtml</p> <p>④②③を踏まえて、本事業についての感想を述べてください。</p>
受付開始日時	2022-01-28 13:00
受付終了日時	2022-02-04 13:00
受付終了後の提出	許可する (8099-12-31 23:59)
ポートフォリオ / 閲覧設定	ポートフォリオに追加 / 提出者本人と教員のみ閲覧・コメント可
学生による再提出の許可	再提出を許可する
添付ファイル	<p>15. 補足資料 (2019一日パパママ体験座談会新聞記事) .pdf - 2022-01-27 11:27:28</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">閉じる</div>	

[▶レポート一覧へ戻る](#)

【子ども家庭支援論】2021年度課題レポート

1	<p>今回の動画を視聴して、1日パパママ体験は、育児や結婚に対するイメージが変わったという学生が多くいたので。学生にとって新たな発見がたくさん見つかる素敵な事業であると感じました。直接、保護者の方に子育てについてのお話が聞けるという点は、将来保育士になるための学びになる他、将来自分が子育てをする時に必ず役に立てると思いました。</p>
2	<p>今回「1日パパママ体験事業」という事業がある事をはじめて知りました。結婚して子育てするというは大変で苦勞するというイメージがあり、この事業に参加することで、実際子育てしている環境に関わることができ、大変なこと以外にも楽しいことや、子育ての面白さ、家族のいい所を知ることが出来ると思うので、とてもいい経験になるんだろうなと思いました。保育所側ではなく、家庭側を体験出来ることはなかなか出来ないことなので、体験できる機会があれば是非参加してみたいなと思いました。</p>
3	<p>本事業について、子育ての家庭のリアルを実際に見て体験することができるので、保育者になる私たちにとって、参加することができたならとても良い機会になるだろうと感じました。保育園で保護者の方々に会うのとは違い、実際に子どもたちが家庭でどのようなことをして過ごしているのか、保護者との愛着関係など、保育園の実習などでは見えない部分が見えてとてもいいと思いました。動画の中でも先輩が話していたように、子育てのイメージが訪問したことによっていいように変わったり、具体的にイメージができるようになるなど、たくさんのメリットがあると感じました。実際に参加することができたら、子育てをする上で大変だったこと、楽しいこと、ご飯は毎日どんなものを考えているのか、ママ友との関係など、さまざまな視点から質問したいと思いました。</p>
4	<p>こういった事業があることを初めて知りました。保育や子どもについて日々学ぶなか、普段実際に子どもと関わる機会は少ない人が多いと思います。しかしこういった事業があることで子どものとの遊びや育児を体験したり、生の保護者の声を聞けることは、将来子どもを育てる親の立場に立ったときにはもちろん、保育者としても活かすことのできる貴重な体験であると感じました。また、動画の中にもありましたが、この事業を体験した半数以上の方が、子育てや結婚への考え方がプラスに変わり、その後の人生においても変化を与えてくれるものであり、すごく貴重であることが感じられました。コロナ禍が終わったり収まったらこの活動を私もしてみたいと強く感じました。</p>
5	<p>動画を視聴して最初に思ったことは、私も一日パパママ体験をしたかった。このような体験をできることは本当に貴重なことであると思うし、また今の状況がおさまっておれば来年度参加したいと思った。私たちは実習では自分が保育者の立場として、多くの子どもたちと触れ合うが、「一日パパママ体験事業」は自分がママパパの立場になるので、普段の実習では中々経験できないことである。家庭訪問をしてパパママ体験をして実際に親目線に立てて、家で1日の細かい流れが見え、そこから新たな発見が見えてくるのかなと考えた。また、子育てのリアルな声を聞くこともできるので、自分が子どもを持つ親になったときに非常に役立つと思った。</p>
6	<p>保育学生として子どもについて学んでいても、子育てへの不安は大きいです。そこで、子育て家庭へ訪問し家庭での子どもの様子を見る事が出来る機会があることは不安の軽減に繋がり子育てへの意欲が増すと思いました。子育てをするパパ、ママの言葉を聞くことで大学では学べないことを学ぶことができ、また自分の子育てをする様子を想像することができると思います。核家族化が進む今だからこそ人と触れ合う機会は大切だと思いました。</p>
7	<p>是非参加してみたい活動だと感じました。参加し父親について学びたい、そして父親に改めて感謝していきたいと感じました。ですが、僕は結婚できるのでしょうか、</p>

8	<p>①第8回目講義資料「地域における家庭支援」を再読してください。併せて、指定テキスト第6章を読んで、地域子育て支援の実情を把握してください。</p> <p>現在共働きで母親が十分に子育てできないという現状から、育児に不安を抱える「育児不安」という言葉が存在する。このような育児不安を取り除くため、子育て支援拠点の拡充であったり、地域が密接に関わり合い、地域で子育てを行うという地域一体型育児なども現状の実態としてあげられる。</p> <p>②視聴しました。</p> <p>③視聴しました。</p> <p>④②③を踏まえて、本事業についての感想を述べてください。</p> <p>実際に訪問している学生の姿を動画という媒体で紹介することで気になっている学生が文章や写真以上に詳細を知る事ができると感じました。また、Webサイトから応募可能という点が気軽に応募できるという形は、誰もが参加できる形であると感じました。</p> <p>座談会では当たり前な質問から少し深くまで入った質問まで幅広く質問されており、動画を視聴することはこれから応募しようと考えている学生の不安解消に最適であると感じました。また4人の学生がいるということは当たり前ではあるが4人意見が聞けるため、1人や2人の意見だけでは信憑性が薄かった情報でも多種多様な意見を聞く事ができ、とても良い形態の座談会であると感じました。</p>
9	<p>【課題】</p> <p>一日パパママ体験事業についての資料や動画を見て、私も参加してみたいと思いました。今の状況から参加できず悲しく思います。私はボランティアや実習を通して子供に触れる機会はあるものの、家庭に触れる機会が全くなく、その点保護者対応や家庭事情について詳しく理解をしておりません。なので、このような経験は沢山しておきたいなと思っています。又、参加者全員が前向きな姿勢に変化していたのでそれも羨ましいなと感じました。</p>
10	<p>「一日パパママ体験事業」という取り組みは、子育てのリアルについて知るととても貴重な体験だと感じた。子育て=大変というイメージがあるなかで、実際に体験させていただく機会があることによって、子育ての楽しさなどを実感できるととても良い取り組みだと感じた。また、子育てを体験させていただきながら、パパママから子育てに関するリアルな声を直接聞くことができるので、自分が親になったときなどに、とても励みになるのではないかと感じた。</p>
11	<p>この2つの動画を見て、「一日パパ・ママ体験事業」がもっと多くの人に広がると良いなと思った。保護者の方から家庭での子どもの様子や子育てや出産・結婚などについて実際の話聞くことが出来る機会はあまりないため、貴重な機会だと感じた。子育ての大変さや楽しさを聞いたり、家族同士の関わりから家族とはについて学ぶことで、自分の将来に向けて楽しさが増したり、悩みが減ると思った。</p> <p>また、保育所や園以外での子どもの様子を見て学ぶことが出来るため、保育者になった時にこの学びを生かせると思った。そして、保育者を目指す人以外にも、この事業に参加してほしいと思った。</p>

12	<p>課題：「一日パパ・ママ体験事業」についての感想を述べてください。</p> <p>率直に、教育者に関する職業につかなくても、学ぶことの多い事業だと感じました。神戸常盤大学で行われている「KIT」にも、似たような部分があるように感じました。でも、「KIT」では勉強を教えることがメインとして行われていて、あくまで教育者としての能力向上のためという部分が多いですが、「一日パパ・ママ体験事業」では、家庭内で子どもや家庭の実態を見ることが出来ると出演者が話していました。将来家庭を持つうえで、気になることや不安な事を聞き、家庭ごとの解決の仕方というのを聞けるのは、この事業ならではのなにかと感じました。私自身も、この事業を2回生の時に知っていれば、参加したかったなと思いました。</p>
13	<p>保育実習や幼稚園実習等や公園など近所の子どもと関わることがあるが、家庭の中での子どもの様子や、パパやママがいる時の子どもの様子を見ることは、ほとんどなく、関わったこともないです。このような体験事業で、パパママを体験することで、家での子どもの様子や家庭の様子やパパママの大変さを知ることが出来ると思いました。子育てへの見方や、結婚への考えなども変わるような体験が出来ると思いました。コロナウイルス感染症が落ち着いたら、体験してみたいと考えています。</p>
14	<p>私が大学で幼児教育について学び始めてから、子育てをする保護者が知っていたら役に立つだろう、これは保護者になる前に知っておくべきではないか、と思うことが多くあった。しかし、長い期間で子どもの成長と共に学んでいくという経験は、保護者にしかできないものだ改めて感じた。保育園や幼稚園の先生として保護者と関わることはあっても、保育を学ぶ学生として、家庭の中で保護者と話したり子どもと遊んだりすることは貴重な経験になると思う。</p>
15	<p>「1日パパ・ママ体験事業」を通して子育ての実態を知ることができることはとても私たち学生にとって素晴らしい体験になると感じた。さまざまな子育て家庭を訪問することで、育児の大変さや育児への捉え方に変化があったり、実際に保護者の声を聞くことで結婚や出産に対して肯定的に捉えることができるようになるというメリットがとても良いと感じた。育児のイメージを持つことができ、不安や疑問を解消でき、育児を身近に感じることができるところが魅力的であると思った。</p> <p>各ご家庭で、育児の方法も違えば、子どもの人数も異なり子育てに正解がないことが分かった。また、地域の子育て支援事業があることでママ友など人との関わりを持つこともできる。このような様々なことを実際に育児体験をしながら知ることができることは魅力的で、必ず自分の将来に役に立つと感じた。将来、保育者になる私は、家庭での子育て事情を知ることがとても重要なことであり、これらの視点を踏まえた保護者支援ができるようになりたいと強く思った。</p>
16	<p>①再読み、把握しました。 ②動画を視聴しました。 ③新聞を読み、動画を視聴しました。 ④本事業についての感想は、まずこのような取り組みがあるのだと初めて知った。動画内でも学生さんが言われていたように、確かに私たちのように保育士を目指す側としては、保育園や幼稚園、認定こども園、施設などの教育現場を見ることはあっても、子育て家庭というものを実際に見る機会がなかったため、驚いた。普段、町や電車、お店などで親子を見ていて、大変そうだなと思ったり、子どもを見てかわいいなあと思ったりすることはあっても、子育ての実際というものは見たこともなく、調べたりすることもなかった。今回動画や新聞を見て、とても良い取り組みで貴重な経験だなと感じた。また、一日パパママ体験事業というものが存在していることを知れて良かったし、学生さんの感想も学びになった。</p>
17	<p>1日、パパママ体験を行うことで、育児の大変さや不安さしんどさを感じることができると思った。しかし、それと同時に自分が将来に対する不安を実際に聞き、知ることができるので、不安は減り、とても良い、意義のある体験だと思った。</p>

18	<p>学生は、こどもを育てている保護者と触れあう機会がないからこの活動でリアルな育児に対することやママ友との交流など生の声を聞くことができるのだと思った。保育の職に就いたとき、自分自身が親になったときに、”あの時の保護者はあんなこと言っていたなあ”と思い出し、対応の良いヒントになるかも知れないと考えた。このような活動（学生の子育て体験、ママ友との交流機会などの子育て支援）があると、保護者もリフレッシュできる良い機会になると感じた。</p> <p>リアルな育児風景を見ることで、大変なことも感じると思う。将来保育の職に就いた時は、そのような大変さを忘れずに共感、受容して対応できたらいいなと感じた。</p>
19	<p>この事業では実際に子育ての生の声を聞けるというのは本当にいい機会だなと感じました。これは実際に自分がお父さんやお母さんになった時にあるいい一面だけでなく、大変な一面も知ることができるというのがとても魅力的だと感じました。実際ほとんどの大学生は動画でもあった通り子どもと関わる機会というのはほとんどないのでこうしておもちゃを持っていき、子どもたちと関わるができるというのは将来子どもができた時のイメージが膨らみやすく、とても良いと感じました。同級生でも結婚している人が出てき出して、これから結婚をする時の生活や子育てのことを知れるととてもいい機会だと感じました。</p>
20	<p>はじめに、1日パパ、ママ体験は、私もしてみたかったと感じた。私自身も子どもと触れ合う機会が全くなく、実習以外では関わりはほぼ無い状況だからこそ、こういう貴重な体験ができる機会が失われてしまったことは非常に残念だ。1日パパママ体験関連の動画を視聴し、保育園での子どもの様子とはまた違う、家での子どもの様子を間近で見ること1日パパママ体験でしか経験することが出来ないと感じた。また、実際に親子関係の構築を見ることが出来たり、保護者との関わりも深く持つことが出来たりとメリットが非常に多いと考えた。また、子育てを経験しているリアルな声を聞く機会でもあり、子育てに直面する私たちにとって為になると感じた。子育ての分担であったり、家庭での育児への取り組み方も学ぶことができる体験だと知った。</p>
21	<p>一日パパ・ママ体験について知り、とても良い事業だと感じました。私も現在大学3回生ですが、自分が母親の立場になった際にしっかり子育てができるか不安に思うことがあります。そして、子育ては経験した人じゃないと分からないと思います。</p> <p>自分の母親に子育てについて聞くことがあっても、その他の母親に聞くことはあまりありません。現役の母親や父親がいる家庭で子育て体験ができるというのは、自分の子どもとどのように接しているのか、夫婦でどんなことを協力しているのか、子育ての中で気を付けていることや大切にしていることは何なのかなどを聞くことができたり、学んだりすることができるのでとても良いと思います。</p> <p>子育てや結婚にポジティブなイメージを持っている人も、ネガティブなイメージを持っている人もこの体験をすることで、イメージに変化があったり、「こういう子育ての仕方・夫婦の関係性・家庭もあるんだ」と新たな発見に繋がるのではないかと感じました。</p> <p>私は、子育ては本当に大変で忙しいという印象が強いけれど、夫婦で協力しながら楽しく子育てをしている家庭もあるということを実感するためにも、一日パパ・ママ体験をしてみたいと思いました。</p>

22	<p>1、2、3の資料や動画を見て、私も参加してみたいと感じた。私自身、身近に乳幼児も、乳幼児を育てている家庭もないので、関わる機会はほとんどないため、子育て家庭の実情を知らない。したがって、この事業を通して家庭に入らせて頂くことで保護者の方がどんな事に悩んだり、子育てをどう楽しんで生活しているのか知ることが出来る貴重な経験になると思い、とても良い取り組みだと感じた。</p> <p>この取り組みは自分が将来親になる時の助けになることはもちろん、保育士になった時の力にもなると考える。親になったことがない保育者では、保護者の悩みの本質が分からないが、保護者の生の声を聞く経験をする事でどんな声掛けをして欲しいのか理解して支援することが出来ると思う。</p>
23	<p>大学生は子育てについてのイメージは漠然としてしかないと思うが、この事業を通して子育てのイメージが変わったり、将来自分自身が結婚、出産した時の参考になるいい体験だと思った。一日パパママ体験を通して、育児の大変さに気付くことで、将来保育士になったときの子育て支援にも繋がっていくのではないかと考えた。</p>
24	<p>結婚や子育てはまだまだ先のことだと思っていたが、これからの人生設計をする時に必要になってくるものだと思う。こういったことを経験することで、結婚や子育てに対してより実感が湧き、将来自分がどのような家庭を築きたいかを具体的に想像することができるので、とても良い経験になると感じた。</p> <p>また、私がこの事業に参加した際には、子育てと仕事の両立についてや育児不安について聞いてみたいと思った。普段教科書でしか情報を集めることができないが、実際に子育てをされている方々の声を聞くことができるのは、とても良い機会だと感じる。</p>
25	<p>「一日パパ・ママ体験」の事業は、育児の現実を知ることができる良い機会だと思った。</p> <p>体験した方が言っていたように、この体験を通して、育児に対する不安が軽減され、育児を前向きに捉えることができるようになったという言葉が大変印象に残っている。私も、どちらかという育児には不安があり、ネガティブな印象を持っている。実際、同級生で二児の母親をしている友達を見ているが、自分の時間を犠牲にして、育児に必死で取り組んでいる姿は、本当に大変そうで、自分にもできるのだろうかと思うことがある。しかし、この体験を通して、育児に対する印象や、結婚観や将来の展望について、前向きな考えを持つことができるようになったという学生さんの言葉を聞き、この事業の魅力を改めて実感し、大変、価値のある体験事業であると思った。</p> <p>また、学生を受け入れた家庭の子どもにとっても、両親以外の大人と触れ合うことでたくさんの刺激を受ける良い機会であるという母親の言葉を聞き、子どもにとっても、学生にとっても、学生を受け入れた家庭の両親にとっても、プラスになる取り組みであることから、私も参加してみたいと感じた。</p>
26	<p>ママ友やパパ友の印象は、テレビやドラマなどでの偏見が大きいと考える。しかし、実際に行ってみて関わってみると違ったりする事実が多いのではないだろうか。何事に関しても、見たり聞いたりする情報も大切であるが自分自身で行動して関わっていかうとする行動力も時には必要となると考える。また、パパ友やママ友と情報共有することで悩みの軽減や解決に繋がっていくのではないだろうか。</p>
27	<p>実際に働きながら子育てをしているママ・パパの先輩方に、実際の育児や仕事との両立、結婚などの将来にも前向きに考える良い機会であると感じた。</p> <p>保育所実習などではみられない子どもの様子や親の様子、育児の大変さも味わうことができると感じた。</p>

28	<p>今回「パパママ体験」について学んで、正直このような体験が出来るということは何も知らなかったが、パパママ体験することは楽しいという雰囲気を感じた。動画の中でも言っていたように、体験した方が経験したことによって子育てのイメージが変わったという話があったが、私の今のイメージは子育ては非常に大変というイメージがある。しかし、子育ては大変というだけでなく、その中でも子どもから癒しをもらっていることで幸せと感じたり、同じ心境のママ友を作ることによって悩みを相談出来たり、少し見方を変えるだけでイメージは変わるものなのだと感じた。また私は今幼児・乳児と関わる機会がほとんどないため、育児の難しさなどは想像しかできないが、このパパママ体験をすることによってより難しさを感じたり、逆にここはこうしたら楽になるなど解決策なども知ることができるので、この体験は今後のためにも学んでおくことであると感じた。</p>
29	<p>①家庭での子育てをすることに対して、不安感を持っている家庭が多く見られている。そこで地域子育て支援によって、相談を受けたり、親への支援計画や子育てによる情報提供の支援を行っている。他にも、保護者が相談を受けている際に在園児との触れ合いを出来て安心することが出来るので利用している人が多い。また、同じ様に、子育て支援を受けている人同士で人脈が広がったりして、保育に前向きな姿勢に繋がっている。</p> <p>今回の授業を通して、感じたことをは子育て支援は子どもを支えるだけでなく保護者の支援にも繋がっていると感じました。また、事業所によって行っている、活動にも保育学生による子どもとの1日体験や保護者にとっても相談を受けたりお互いに学びに繋がる様にしていたので感銘を受けました。保育者を目指していく立場として、子どもの支援はもちろん保護者による配慮にも気をつけていきたいと感じました。</p>
30	<p>今回の授業を受けて、様々な地域での家庭支援があることを学んだ。「一日パパママ体験事業」というものがあることを知り、とても興味がわいた。実際に、保育所や幼稚園などに実習に行き、子どもと関わることはできたけれど、保護者の方と関わる機会はなかったため、本当に貴重な体験だと感じた。自分が家庭に入ることによって、見えるものや気づくことがたくさんあるのだと感じた。受け入れてくださる家庭も、「一日パパママ体験事業」に肯定的であり、お互いにとってもいい影響を与えるものだったと思った。普段味わうことのできないご家庭の雰囲気や子育ての様子を知ることができるのはとてもいいなと感じた。家庭での様子を少しでも知ることができたら、保育者になった際も、少しでも保護者の方の気持ちに寄り添えるのではないかなと思った。また、子どもたちと地域が深く繋がれる環境があることは理想だと感じた。</p>
31	<p>実際に子育て家庭に訪問し、どんな玩具を渡すか考えたり、どんな遊びをするか考えたりするというのは、自分の将来への見通しに繋がると共に、保育者として「実際の子育て家庭はどんなことに困っているのか」ということを生の意見を聞くことができるとてもいい機会になるのではないかと思います。</p> <p>「旦那さんも育児を手伝っていてびっくりした」というような意見を出している学生さんがいて、実際に今の日本は男性の育児参加率が低いと見られているため、母親が1人で育児をするワンオペ育児が問題となっていたりします。そこで、私たち保育者はどんな支援をしていくべきなのかということをもっと考える機会にも繋がると考えました。</p> <p>保育園に来ている子ども達は「子ども同士の集団生活」を通して生活していますが、家で生活している子どもはまた違う顔を見せると感じます。母親にしか分からない苦悩等の、実際の声に耳を傾ける機会ができ、また、ママ友との問題など園外の実声やリアルな声を聞ける機会ができることは、将来への見直し、保育者への1歩としてとてもいい機会になると感じました。</p>

32	<p>一日パパママ体験というのは今年はできなかったけど、体験した人のほとんどが、体験する前より、結婚や育児などについて好印象を持っているということを知り、こう言った体験は貴重で少子化の解決にもなっていくのではと思った。</p> <p>また、実際に保護者に話を聞くというのはあまりない機会なので、その時に子育てのことやママ友などの話を聞くことができるのは将来ママになるかもしれない私たちにとってはすごく貴重で大切な機会なので、体験したいと思った。</p>
33	<p>「一日パパママ体験事業」という取り組みがあることを初めて知った。保育園や幼稚園、大学では味わえない家庭での子どもや保護者の関わりが見られたり、育児の大変さなども知ることができたりするので、とても良い取り組みだと思った。また、気になることや疑問に思ったことをすぐに直接的に聞けるので、学生にとったらすごく良い環境だと感じた。</p> <p>家庭の中でも育て方や子どもの性格も違うので、大変な部分もたくさんあると思うけど、それを経験させていただくことで、育児に対する楽しさも感じられると考えた。</p>
34	<p>まずは一日パパママ体験事業紹介をみて、この活動を通して親の生の声を聞くことができ、子育ての大変さや難しさを味わうことができるなと思いました。また、自分の将来のライフプランを考えるきっかけにもなる貴重な体験だと思いました。</p> <p>学生の座談会を聞いてどの人の感想も体験することによって行って良かったと言っていて、大変なこともあるかと思うけど家によって様々な子育ての仕方があるので様々なことを知れて良い機会だなと思いました。</p>
35	<p>このような事業を行っていることを初めて知った。この事業があることで、将来を明確にイメージすることができること、また、家庭での親と子どもの様子、兄弟の関係など様々な姿を見ることができると感じた。</p>
36	<p>赤ちゃんの人形を使った練習などはやったことがあるが、実際に赤ちゃんを前にして、一対一の関わりを持つのはなかなかないことなので、良い練習になると思う。</p>
37	<p>保護者の方にとっても学生にとっても良い経験になると思った。学生は、家庭の様子を見ることで、保育園の子どもの様子とは異なった姿を見ることができ、母親になるということを感じることができるので良いと思った。また、保護者の方からの話を聞くことで、自分が保育者になって保護者支援をする時に、体験事業のことを思い出したり参考にしたりしながら、支援ができると思った。保護者の方にとっても、普段育児と家事で追われていることから、人とのコミュニケーションの時間が減っていると思うので、学生であっても、コミュニケーションをとる機会があつて良いと思う。そして、保護者の方が、他のお母さん達とどのようにコミュニケーションを取っているのか、普段はどんなスケジュールで動いているのかなど、保育者になっても分かりづらいことが聞けてとてもいいと思った。</p>
38	<p>今回初めて1日パパママ体験事業というものを知った。体験談を聞いていると保育園や幼稚園とは違う子どもの姿が見られることがわかった。家庭での様子はほとんど見ることが出来ないのではとても貴重な経験になりそうだなと思った。保育者として園で子どもの対応をすることで感じる難しさとは違う難しさがあると感じられた。きょうだいの年齢や遊び方の違いなど配慮しなければいけないことがある。</p> <p>実際に家庭に入ることによって結婚のイメージが変わったとあった。私も結婚に対して良いイメージは無いのでこの体験を経験してみたいなと思った。</p>

39	<p>子ども家庭支援論 第15回</p> <p>今は、学校を卒業するとほとんどの人が就職をして仕事を持つことになると思う。結婚しても共稼ぎの家庭がますます増えていくと思うし、また働かないと子どもを育てていくことにはお金がかかると言われているので大変なのだと思っている。参加された皆さんが言っていたように自分も家庭を持つことに不安があるし、まだまだ考えることができない。晩婚化と少子化もこのような社会背景にあると思う。今回神戸での取り組みを知り、実際の家庭での子育てを体験させてもらうというのはすごい試みだと思った。子育てを視野に入れたライフプランを立てるために少し不安を解消できる取組になると思った。話を聞く中で、お父さんとお母さんが役割というわけではなくさっと子どものために自然と動いておられたというのを聞いて、こうあるべきなんだろうと思う。将来お母さんになる方にとって、仕事と両立するためには家族の協力が必要で、核家族が増える中、お父さんの協力がとても高い割合を占めると思う。子どもとしっかり関わっていかうとは思っているが、実際こういうことを期待されているんだろうなと思うと、ますますプレッシャーにもなるので、子育てしているお父さんと関われる機会があるような取り組みはありがたいことだと思う。</p>
40	<p>今回の事業の動画を視聴して、私たち保育者を目指す者にとってこの事業はとても良い経験ができると感じた。私自身、大学に入学する前から子どもとの関わりが少ないと感じており、保育所や子育て支援施設でのアルバイトやボランティアに多く取り組んできた。現在もベビーシッターのアルバイトを行っているが、やはり共通して言えるのが乳児との関わりはとても少ないということだ。しかし、就職したら乳児とは深く関わっていかなくてはならない。0歳児クラスの配属になれば、本当になかなか関わることのない月齢の子どもたちばかりだと思う。そして関わるのは子どもだけではない。保護者とも、実習等で満足関わることのない中で関わっていかなくてはならない。だからこそ、このような事業を通して、乳児やその兄弟、そして保護者と家庭という場所で関わることはとても良い経験だと感じる。</p>